



～主因は好調な世界経済～

初めに

当レポートがインフレを初めに取り上げたのは5月24日のことですが、その後インフレは終焉するどころか益々勢いを増しています。今回は改めてインフレについて考えます。

昂進続くインフレ圧力

ユーロ圏の経済・物価見通し				
	成長率		物価上昇率	
	21年	22年	21年	22年
ユーロ圏	5.0%	4.3%	2.4%	2.2%
ドイツ	2.7%	4.6%	3.1%	2.2%
フランス	6.5%	3.8%	1.9%	2.1%
イタリア	6.2%	4.3%	1.8%	2.1%

2021/11/12 日経新聞 朝刊 (出所)欧州委員会

世界的なインフレ圧力の高まりが続いています。先日発表された米国の10月の消費者物価指数は前年比6.2%、31年ぶりの高水準です。また欧州では欧州委員会が21年、22年の物価予測を大幅に上方修正しています。日本では統計上はインフレと言う状況ではありませんが、ガソリンや食料品などの価格は上昇しています。政府はガソリンなどの元売り業者に補助金を出すことを決定しました。

インフレの原因

インフレの主因は4つあります。好調な世界経済、過剰流動性、サプライチェーンの混乱、地球温暖化です。まず世界経済についてですが、5Gの導入で技術革新が加速し、魅力的な商品やサービスが次々と産み出されました。この技術革新（デジタル化）により世界経済はかなり強い状況が続いています。2つ目は過剰流動性です。新型コロナウイルス対策として各国政府・中央銀行が放出した大量の資金が商品市場に流入し、諸物価を引き上げました。3つ目はサプライチェーンの混乱です。今年3月にはスエズ運河が封鎖され物流に大きな支障が出ましたが、今はそれ以上の混乱です。新型コロナウイルスの影響から世界経済が急速に立ち直ったことにより人手不足が顕在化し、各地で物流が滞っています。米国ロサンゼルス港やロングビーチ港の沖合には約100隻のコンテナ船が滞留しているとのことです。米政府も解決に乗り出していますが、それには1年かかるとの見方もあります。4つ目は地球温暖化です。石油・石炭などの利用が制限されることによりこれらの価格が上昇、更に電気やガスなどの料金も上昇しています。また農業や水産業に影響が出ていることもインフレの原因です。